

令和5年度 第5回 宇美町地域公共交通会議議事概要

① 開催日時：令和6年3月25日（月）15：00～15：30

② 開催場所：宇美町役場2階大会議室左

③ 出席者：（順不同・敬称略）

〔委員〕原田（会長）、山本（㈱木村タクシー）、中尾（合屋タクシー㈱）、宮崎（九州旅客鉄道㈱）、鶴川（小学校区コミュニティ）、小河（民生委員・児童委員）、黒川（町議会議員）、佐田（粕屋警察署）、大井（大分大学有識者）

〔代理出席〕泉田（西日本鉄道㈱、中島代理）、辻（九州運輸局福岡運輸支局、傳代理）、

〔欠席委員〕江口（自治会長会）、辻（宇美こども子育てネット・う～みん）、和田（県土整備事務所）、田辺（福岡県交通政策課）

〔オブザーバー〕ネクストモビリティ㈱2名、㈱KCS2名

〔事務局〕浦本、田原、川上

1 開会挨拶

- ・会長（原田副町長）が行う。

2 報告事項

「のるーと宇美」の年間報告について

- ・「のるーと宇美」運行開始後の改善対応
- ・「のるーと宇美」居住地・年代別データ

（事務局）資料説明

（会長）1年間運行していく中で、色々なデータが蓄積され、課題も見えてきたため、その都度、改善を図りながら対応してきたところ。特に先ほど話があった乗り合い率に関しては、現状としては30%前後で推移している。のるーと宇美の特徴として、「乗り合い」というのが一つあるが、当初は1人だけに乗せて、行ったり来たりという状況が続いていたが、徐々に乗り合いが増え今3割程度になっている。一台当りで約4人の方を輸送しており、非常に効率よく回っているという報告を受けている。1時間当たりで考えると、タクシーであれば1人しか運べないところを、のるーとでは4人運べており、非常に効率よく運行されているというようなご意見も頂いているところ。

今報告があった内容等について、ご意見ご質問等あれば。

（辻（運輸局））すごく分析されている印象。AI デマンドと言いつつ、人の知恵や需要によって色々と変えていくことで、こんなに変わるものなのだなあという印象である。一点伺いたいことは、電話予約とアプリ予約の割合は、当初からの変化はあるか。

（事務局）予約の割合は、当初と変わらない。全体で、アプリ及びLINEが7割程度で電話が3割程度である。

（会長）他にないようであれば、その他の項目に移りたい。

3 その他

(会 長) 本日は西日本鉄道さん、それから JR 九州さんにも来て頂いているので、何かご紹介やご報告があれば。

(泉 田) 春のダイヤ改正の状況を紹介させていただきたい。まず鉄道に関して、桜並木駅が新たに開業をした。利用者数は、3月16日のダイヤ改正日には、イベントがあったこともあり、7,300人の駅利用があった。17～19日についても3,500人程度の利用があったと聞いている。目標は一日当たり8,000人なので、少し足りていないが、春日原駅や雑餉隈駅を利用している方が、桜並木駅のほうが便利ということで移っていただくということで、8,000人というのも達成できない目標ではないと聞いている。

バスに関しては、これまで宇美町から11番の南福岡線が福岡市のほうへ運行しており、3月16日からは桜並木駅に乗り入れを開始している。バス停が、桜並木駅入口の目の前にあるので、便利になったという声も聞いているが、ただ一方でもともと雑餉隈駅を利用されていた方からは、天神からの距離が長くなって、定期券の金額が上がったといった声もあるが、逆に言えば、下る方については安くなるので、一長一短かなと思っている。

また、事前にお伺いをされていた内容でこちらからお答えできるものが一つある。お尋ねされた内容は、バスの乗務員不足に対してどのようなことをしていますかというもの。運転手になりたい人を、弊社の研修センターにお呼びして、運転士として適正なのか、本人の希望も含めて、体験をしていただく乗車体験会の催しを行った。3月に実施したものについては、参加者16名のうち1名はこれから採用について話を進めていくと聞いている。今後も継続してこういった取組を進めていきたい。

(会 長) 体験会の取組は、西日本新聞にも掲載されていて当日、男女合わせて16名ということで女性の方も、何人かいたと聞いている。西鉄さんとしては今年が2回目ということで、前は20人参加されてそのうち4人が入社意向を示された。こういった体験会が直接、運転士の確保にもつながっている模様。継続して実施していただければと思う。

続いてJRさん、お願いします。

(宮 崎) JRも3月16日にダイヤ改正を実施している。また、この会議の中でもお話したとおり、16日から香椎線で自動運転をスタートしている。ネット等で反応や感想を見ると、自動運転を無人運転と勘違いしている方がやはり多い。踏切のある香椎線で無人運転というのは難しく、運転士の資格を持たない乗務員、具体的には車掌の資格を持った者を「自動運転乗務員」ということで養成をして、運転自体は機械が実施するけれども、踏み切りや異常時には自動運転乗務員が対応することで安全性を保っているところ。やはり自動運転は不安なイメージを持たれることが多いが、実証運転を2年以上やってきたので、その中で

培ってきた経験をもとに、安心してご利用頂けるよう、ご案内等努めていければと思っている。

私は4月から異動となった。これまで本当にありがとうございました。また引き続きよろしくお願いいたします。

(会長) JRさんにはウォーキングのイベント等で色々なご協力を頂いた。ありがとうございました。

それでは、前半の地域公共交通会議については、これをもちまして終了とさせていただきます。